

目次

雑誌名	Humanities Center Booklet
巻	4
発行年	2020-07-10
URL	http://hdl.handle.net/2261/00079399

「社会科学と人文学の対話」 ——『国書がむすぶ外交』総論を素材に」

東京大学ヒューマニティーズセンター オープンセミナー特別回より

1 趣旨説明

——『教養としての世界史の学び方』へのコメントをかねて…… 1

松方 冬子

概要

日 時：2019年12月20日（金） 18：00～21：00

場 所：東京大学伊藤国際学術研究センター 3階

報告者(登壇順)：松方冬子(東京大学)、岡本隆司(京都府立大学)、
山下範久(立命館大学)、廣野美和(立命館大学)

コーディネーター：松方冬子(東京大学)

主 催：東京大学連携研究機構ヒューマニティーズセンター

共 催：東京大学史料編纂所

2 「社会科学と人文学の対話」によせて …………… 5

岡本 隆司

3 国際関係学の問題意識と方法論の視点から

『国書がむすぶ外交』を考える …………… 11

廣野 美和

4 「史観」批判は出会えるか？ …………… 17

山下 範久

5 『国書がむすぶ外交』評へのリプライ	29
松方 冬子	
6 総合討論	37
7 セミナーを終えて	62
(コーディネーター) 松方 冬子	
著者紹介	65